

三菱自動車、関西電力のEVエネルギーマネジメントシステムに車両データを連携

～三菱自動車は車両データ連携に使用するAPIを公開へ～

三菱自動車工業株式会社（以下 三菱自動車）は、関西電力株式会社（以下 関西電力）と、三菱自動車のコネクティッドシステム*¹と関西電力のEVエネルギーマネジメントシステム（EV-EMS*²）を連携させることに合意しました。

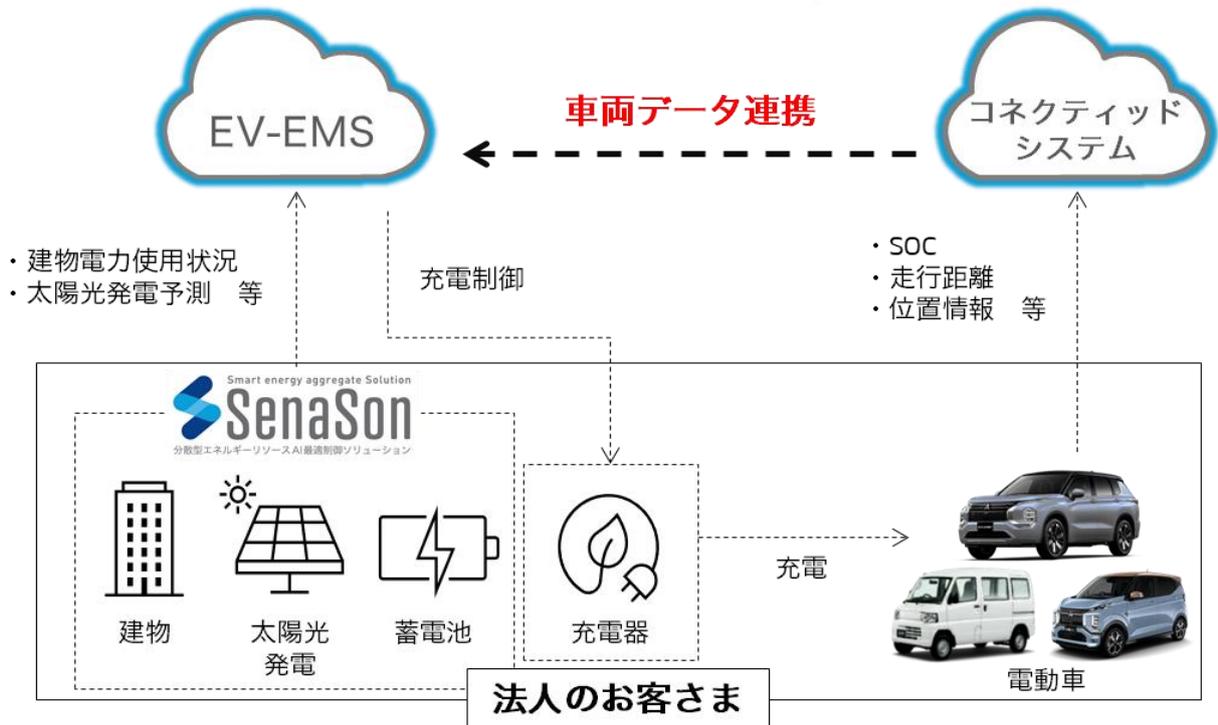
三菱自動車は、電動車の車両データを関西電力が提供するEV-EMSに連携し、法人向けに提供される電動車の充電マネジメントの高度化に貢献します。本連携を通じ、法人顧客の電力使用の最適化や充電計画の高度化を図り、電力コスト削減や再生可能エネルギーの有効活用につながるサービスの提供を目指します。

また三菱自動車は、車両データ連携に使用するAPI(Application Programming Interface*³)を、本発表を契機にエネルギーマネジメントサービス事業者(EMS事業者)やフリートマネジメントサービス事業者に公開します。本発表時点で電動車の車両データ連携に用いられるAPIの公開は国内自動車メーカーでは当社のみでの取り組みになります。本APIの利用拡大を通じ、自動車メーカーとEMS事業者間のデータ連携の推進にも貢献していきます。

■システム連携の概要

三菱自動車のコネクティッドシステムを通じて取得した電動車の車両データは、関西電力が提供するEV-EMSに連携されます。EV-EMSでは、三菱自動車から連携された車両データと、関西電力の分散型エネルギーリソース AI 最適制御ソリューション「SenaSon（セナソン：Smart energy aggregate Solution）」で取得する建物の電力使用状況や太陽光発電の発電予測データなどの情報を組み合わせ、最適な充電を実現します。

この取り組みにより、電力需要の平準化や再生可能エネルギーの有効活用を実現し、法人顧客の電力コスト削減と脱炭素経営に貢献します。



■車両データ連携に使用する API について

三菱自動車は本発表を契機に、車両データ連携に使用する API を標準化し、車両データ連携によるエネルギーマネジメントやフリートマネジメントサービスを推進する企業・団体に順次公開してまいります。本 API を利用することで、サービス事業者は容易に車両データの活用が可能になります。これにより三菱自動車は、エネルギー事業者、充電サービス事業者、フリート事業者、カーシェア事業者、保険会社等のパートナー企業との協業領域の拡大を目指します。

また、三菱自動車は、こうした車両データ連携に関する取り組みに活用いただける情報として、本 API の仕様についても、他の自動車メーカーを含む関係事業者が参照可能な形で順次公開してまいります。

API 連携または API 仕様の参照をご希望される場合は以下の問い合わせフォームもしくは QR コードより当社までご連絡ください。

【問い合わせフォーム】

[API 利用申し込みフォーム](#)



■各社の役割

三菱自動車	✓ API を通じた EV-EMS への車両データ連携 ✓ データ連携車種ラインナップの追加
関西電力	✓ 車両データを連携した EV-EMS のお客さまへの提供 ✓ 車両データを活用した EV-EMS の高度化

*1…インターネットや無線通信を利用して車両が外部のデバイスやサービスと情報通信するシステム。これによりリアルタイムの車両情報の取得や遠隔制御が可能となる。

*2…EV の電池残量等をもとに充電を最適化するシステム。

*3…システム間でデータを受け渡すための接続仕様。

■会社概要

・三菱自動車工業株式会社

本社 : 東京都港区芝浦三丁目 1 番 21 号

代表者 : 代表執行役社長兼最高経営責任者 加藤 隆雄

主な事業内容: 自動車およびその部品の開発、生産、販売、金融事業

URL : <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/>

・関西電力株式会社

本社 : 大阪府大阪市北区中之島三丁目 6 番 16 号

代表者 : 代表執行役社長 森 望

主な事業内容: 電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業

URL : <https://www.kepcoco.jp/>

■関西電力の発信内容

「三菱自動車の車両データと当社 EV エネルギーマネジメントシステムの連携」

URL : https://www.kepcoco.jp/corporate/notice/notice_pdf/20260326_1.pdf